

# 定期作況報告

平成26年6月  
(6月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

# 1. 気象経過

5月下旬：最高気温は平年より高く、最低気温は平年並で、平均気温は平年よりやや高かった。降水量は平年より少なかった（平年比2%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比121%）。

6月上旬：最高気温、最低気温および平年気温ともに平年より極めて高かった。降水量は平年より少なかった（平年比19%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比132%）。

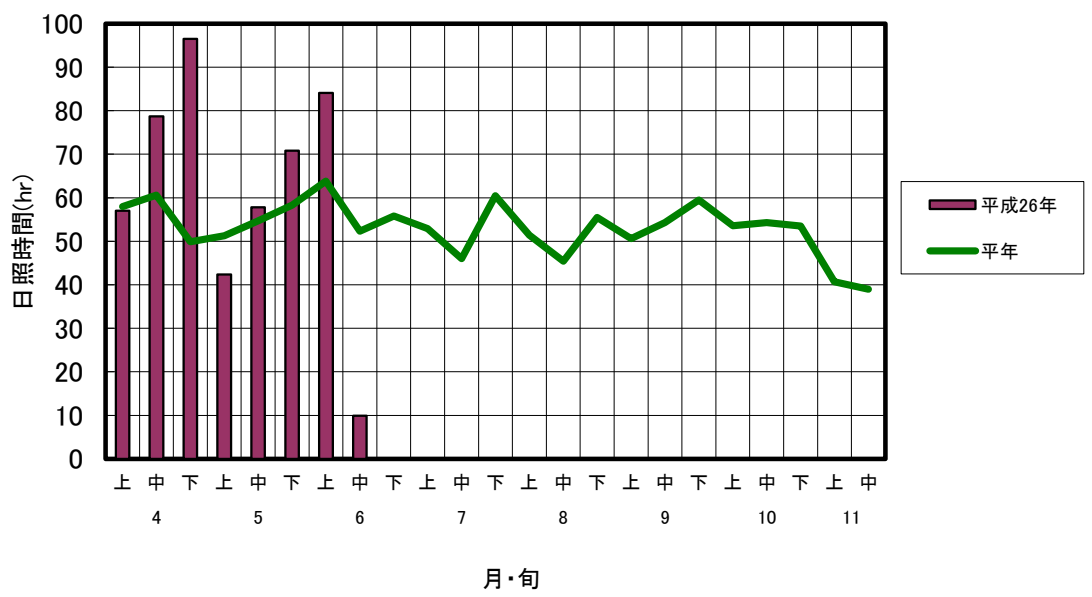
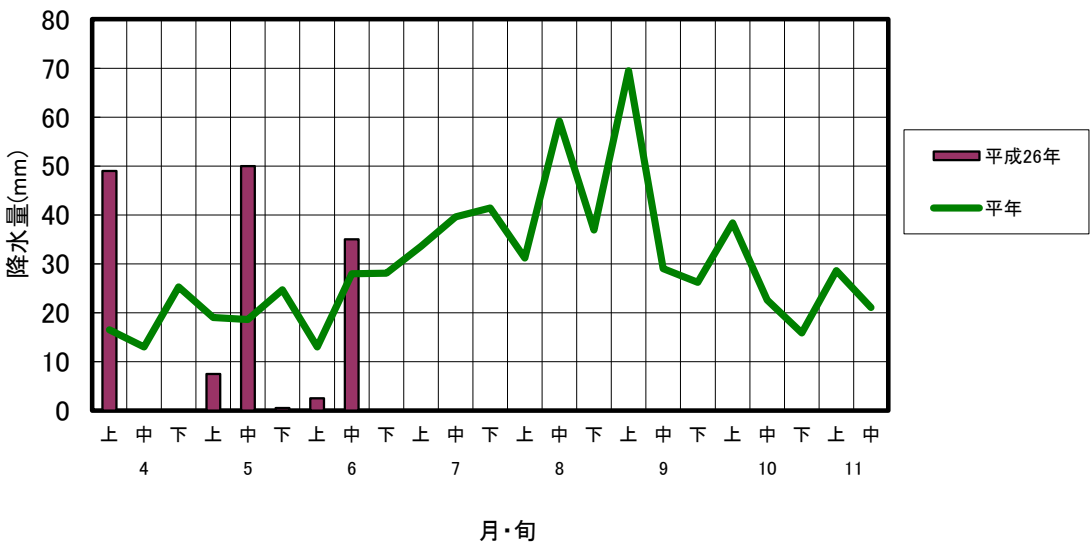
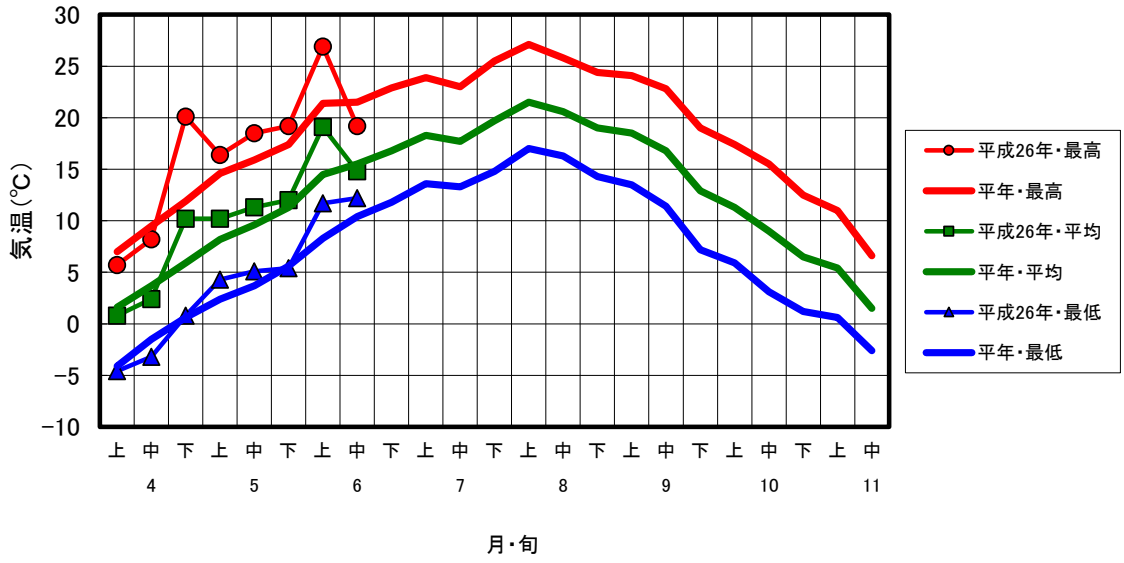
6月中旬：最高気温は平年より低く、最低気温は平年より高く、平均気温は平年よりやや低かった。降水量は平年よりやや多かった（平年比125%）。日照時間は少なかった（平年比19%）。

以上のことから、この1か月間（5月下旬～6月中旬）は平年と比較して、気温はやや高く、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

項目 月・旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	12.0	11.3	0.7	19.2	17.4	1.8	5.4	5.6	△ 0.2
6月上旬	19.1	14.5	4.6	26.9	21.4	5.5	11.7	8.3	3.4
6月中旬	14.8	15.5	△ 0.7	19.2	21.5	△ 2.3	12.2	10.4	1.8

項目 月・旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	0.5	24.7	△24.2	70.8	58.3	12.5
6月上旬	2.5	13.0	△10.5	84.1	63.8	20.3
6月中旬	35.0	28.0	7.0	9.9	52.3	△42.4

注) 観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。  
平年値は前10か年間の平均である。



## 2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、オホーツク管内全体を代表するものではありません。

### 1) 秋まき小麦 作況：やや不良

事由：5月下旬から6月上旬の平均気温が平年より高く推移したため、生育は進み、出穂期は平年より3日早い6月7日であった。草丈は概ね平年並であったが、6月上旬の高温により茎数の淘汰が進み、茎数は平年を下回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	きたほなみ		
	本年	平年	比較
出穂期 (月.日)	6.7	6.10	△3
草丈(cm) (6月20日)	89.2	91.4	△2.2
茎数(本/m <sup>2</sup> ) (6月20日)	650	776	△126

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、25年(最豊)を除く5か年の平均。

### 2) 春まき小麦 作況：平年並

事由：4月下旬から6月上旬の気温は高く推移し、降水量は少なかった。このため生育は進んでおり、出穂期は平年より9～10日早かった。草丈は平年より高かったが、茎数は平年よりやや少なかった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	春よ恋			はるきらり		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
出穂期 (月.日)	6.16	6.25	△9	6.14	6.24	△10
草丈(cm) (6月20日)	79.9	65.4	14.5	77.1	65.4	11.7
茎数(本/m <sup>2</sup> ) (6月20日)	776	845	△69	723	845	△122

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、24年(最豊)を除く5か年の平均。

### 3) とうもろこし 作 況：良

事 由：平年より2日早い5月15日に播種を行った。5月下旬は降水量が少なく土壌が乾燥ぎみであったため、出芽期は平年より1日遅い6月1日であった。出芽後は、6月上旬の気温が平年より極めて高く推移したため、草丈、葉数ともに平年を上回っている。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.15	5.17	△2
出芽期 (月.日)	6.1	5.31	1
草丈(cm) (6月20日)	45.1	28.2	16.9
葉数(枚) (6月20日)	5.7	4.5	1.2

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

### 4) 大 豆 作 況：良

事 由：平年より1日早い5月23日に播種を行った。播種後の気温が高かったため、出芽期は平年より4日早い6月3日であった。出芽後も高温傾向に推移したため、主茎長、本葉数は平年を上回っている。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.23	5.24	△1
出芽期 (月.日)	6.3	6.7	△4
主茎長(cm) (6月20日)	14.6	10.8	3.8
本葉数(枚) (6月20日)	1.9	1.0	0.9

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

## 5) 小豆

作況：良

事由：平年より1日早い5月23日に播種を行った。播種後の気温が高かったため、出芽期は平年より4～5日早い6月5～6日であった。出芽後も高温傾向に推移したため、主茎長、本葉数は平年を上回っている。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	サホロシヨウズ			エリモシヨウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.23	5.24	△1	5.23	5.24	△1
出芽期 (月.日)	6.5	6.10	△5	6.6	6.10	△4
主茎長(cm) (6月20日)	5.3	3.6	1.7	5.4	3.8	1.6
本葉数(枚) (6月20日)	1.3	0.6	0.7	1.2	0.5	0.7

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、20年(最豊)を除く5か年の平均。

## 6) 菜豆

作況：良

事由：平年と同日の5月23日に播種を行った。播種後の気温が高かったため、出芽期は平年より3日早い6月5日であった。出芽後も高温傾向に推移したため、草丈、本葉数は平年を上回っている。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.23	5.23	0
出芽期 (月.日)	6.5	6.8	△3
草丈(cm) (6月20日)	13.1	9.3	3.8
本葉数(枚) (6月20日)	2.1	0.9	1.2

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

7) ばれいしょ 作 況：やや良

事 由：植え付けは平年より5～6日早い5月9日に行った。5月中～下旬の気温が平年並～やや高めであったため、萌芽期は植え付けの早さを反映し「男爵薯」、「コナフブキ」とも平年より5日早い5月31日および6月1日であった。萌芽後の気温が平年より高めに推移したことから、茎長は両品種とも平年を上回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期 (月.日)	5. 9	5.14	△ 5	5. 9	5.15	△ 6
萌芽期 (月.日)	5.31	6. 5	△ 5	6. 1	6. 6	△ 5
茎長(cm) (6月20日)	26.2	16.1	10.1	27.3	17.3	10.0
茎数(本/株) (6月20日)	4.1	3.7	0.4	3.0	3.1	△ 0.1

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、24(最豊)を除く5か年の平均

8) てんさい 作 況：やや良

事 由：この1か月は気温が高めで、6月中旬を除いて日照時間も長めであったため、生育が進み、草丈、生葉数、茎葉数、根重全てで平年を上回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			リッカ(参考)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	32.2	26.2	6.0	32.8	26.0	6.8	17.7	15.1	2.6
生葉数(枚) (6月20日)	13.8	11.8	2.0	12.8	11.2	1.6	8.3	7.2	1.1
茎葉重(g/個体) (6月20日)	180	102	78	160	98	62	34	16	18
根重(g/個体) (6月20日)	29	21	8	27	21	6	2	1	1

注1) 平年値は前7か年中、平成21年(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均。

注2) 直播「リッカ」は参考品種、平年値は前4か年の平均。

9) 牧草(チモシー)

作況: 不良

事由: 萌芽期以降6月上旬にかけて、気温が平年より高く推移し、とくに6月上旬の気温は平年より極めて高かった。このため、1番草の出穂始は平年より3日早い6月12日、出穂期は平年より4日早い6月15日で、収穫は平年より3日早い6月19日に行った。5月下旬と6月上旬は干ばつ傾向で推移し、6月中旬の平均気温は平年よりやや低く、日照時間も少なかったことから、1番草は草丈が平年よりやや低く、生草収量、乾物収量ともに平年を下回った。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
出穂始	(月.日)	6.12	6.15	△ 3
出穂期	(月.日)	6.15	6.19	△ 4
出穂程度	1番草	9.0	6.7	2.3
刈取日	(月.日)	6.19	6.22	△ 3
倒伏程度	1番草	1.0	3.0	△2.0
病害罹病程度	1番草	1.0	1.8	△0.8
草丈(cm)	(6月5日)	70	69	1
	1番草	91	105	△ 14
生草収量	1番草	2363	2776	△413
乾物率	1番草	22.5	22.3	0.2
乾物収量	1番草	533	604	△ 71
同上平年比	1番草	88	100	△ 12

注) 平年値は前7か年中、21年(最凶)、平成24年(最豊)を除く5か年の平均。

出穂程度は、1:極少~9:極多。

倒伏程度および病害罹病程度は、1:無または微~9:甚。病害は主に斑点病。



## 10) たまねぎ

作 況：やや良

事 由：5月下旬から6月上旬の気温は高めに推移し、6月中旬には適度な降雨もあったことから、生育は旺盛であった。早生種「改良オホーツク1号」では、平年と比較して生葉数はやや上回り、草丈および葉鞘径は上回っている。晩生種「スーパー北もみじ」では、草丈、生葉数、葉鞘径のいずれも平年を上回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	51.5	43.5	7.6	46.0	29.2	16.8
生葉数(枚) (6月20日)	6.6	6.1	0.5	6.9	5.4	1.5
葉鞘径(mm) (6月20日)	13.2	10.8	2.4	11.6	8.1	3.5

注) 平年値は前8か年中、平成19年(最豊)、20年(暴風雨被害により成績を参考扱いとしたもの)、25年(最凶)を除く5か年の平均。